

一般社団法人 日本 WPA 第 10 期（令和元年度）事業活動方針

日本 WPA の使命は、①水なし印刷、バタフライロゴの普及、②水なし印刷に関する技術、経営情報の共有化、③会員相互の交流にある。これらの使命を果たすための最重要課題は、日本 WPA の基盤の強化である。

1. 基本活動方針

会員数が、減少傾向になっており、会員数の増加を図る。

会費収入減となるが、会員サービスは、質、量について現状を維持し、かつより充実を図る。

2. 個別事業活動方針

(1) グリーン購入法に採用に合わせた周知活動を実施する。

(2) エコプロ 2019 への出展

一般来場者や、未来の水なしファンになってくれるであろう子どもたちにも分かりやすい展示を行い、同時に人気のかかる取り大会も継続する。

(3) 低炭素杯 2020 への協賛

低炭素杯は、前は、1425 団体からの応募があった。

低炭素杯 2020 に協賛し、審査委員に加わり「日本 WPA 最優秀未来へのはばたき賞」を該当団体に贈呈する。

(3) ホームページのリニューアル

未完成の追加のコンテンツを完成させる。

会員専用ページのコンテンツの充実を図る。

日常的な、コンテンツ更新を実施する。

(4) カーボンオフセット事業、VOC 計測事業、CFP 事業

日本 WPA が先進的に実施しておりますカーボンオフセット事業、VOC 計測事業、CFP 事業を、継続事業として実施する。

(5) 印刷機のリノベーション事業

老朽化した印刷機のリノベーションによる「水なし化」は、経営的に多大なメリットがあり、省資源の社会的課題にも応えるものである。

リノベーション+後付け UV 装置による水なし UV 化は、日本 WPA の重点方針として、今後とも積極的に応援、情報発信に努めていく。

(6) 日本 WPA の活性化

日本 WPA の活性化のための、工場見学会・セミナー、懇親会等のイベントを充実させ、会員相互交流、相互の情報交換の機会を増加させる。

年度内に 2 回の実施を計画する。

(7) 営業担当者、技術担当者を対象とするセミナーを開催する。

3. 予算

第10期は、会員数の減少に伴う、前期比100万円程度の収入減を見込んでおり、収入は、16,000,000を計上する。支出については、経常支出の総額は、収入に近い金額とする。

経常外支出として、ホームページリニューアルの追加費用、エコカルタの増刷費を計上する。

以上